朝日町
防災ハザードマップ

ハザードマップの目的

平成23年3月11日に「東北地方太平洋沖地震」が発生し、東北地方の太平洋側に大きな被害をもたらしました。

この地方においても、南海トラフを震源とする地震が今後30年以内に70%程度の確率で発生すると予想されているほか、養老-桑名-四日市断層をはじめとした活断層も多く存在することから、いつ大きな地震が発生してもおかしくない状況となっています。

また、平成26年8月20日には、広島市北部での大規模土砂災害によって多くの方が亡くなりました。

朝日町では、今後発生のおそれがある地震および風水害、土砂災害に対する危険度等を掲載した「朝日町防災ハザードマップ」を作成しました。このハザードマップを利用して災害に対する危機意識を持っていただき、災害が発生したときの安全かつ迅速な避難や事前の備えについて、日頃から家族や地域の皆さんで話し合いましょう。

平成27年3月作成

【問い合わせ先】
朝日町役場
〒510-8522 三重県三重郡朝日町大字小向893番地
TEL.059-377-5651(代)
e-mail:asahi@town.asahi.mie.jp

南海トラフって何…？
地震が発生したら…？
避難の仕方は…？
防災対策はどうすれば…？
もしものときの持ち出し品・備蓄品は…？
津波・土砂災害の危険エリアは…？
緊急時の避難所はどこ…？
災害用伝言ダイヤルって何…？

風水害の警報・注意報

大雨が降っている時は、気象庁が発表する警報や注意報を意識して、後の避難に備えましょう。

特別警報 ただちに命を守る行動を!!

警報・注意報の種類

大雨警報・注意報	特別警報	数十年に一度の大雨で、重大な災害の発生する可能性が著しく高いときに発表される。
	警　報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあるときに発表される。
	注意報	大雨による災害が発生するおそれがあるときに発表される。
洪水警報・注意報	警　報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあるときに発表される。
	注意報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあるときに発表される。
暴風警報・強風注意報	特別警報	数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予測されるときに発表される。
	警　報	暴風による重大な災害が発生するおそれがあるときに発表される。
	強風注意報	強風による災害が発生するおそれがあるときに発表される。

その他の防災情報

土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報。
記録的短時間大雨情報	大雨警報が発表されている中で、災害発生につながる稀な大雨を観測した場合にその旨を知らせる防災情報。

水害時避難の心得

足元に注意

- 水中のマンホールや溝に注意し、長い棒を杖代わりにして確認しましょう。
- 側溝やフタの取れたマンホールに落ちないようにしましょう。
- 長靴は水が入ると重くなり歩けなくなるため、運動靴で避難しましょう。

車は使わず歩いて避難

- 避難途中で渋滞になり、避難できなくなります。
- 緊急車両の通行ができなくなります。
- 障害物を越えられず一刻をあらそうときに時間のロスになります。

集団で避難

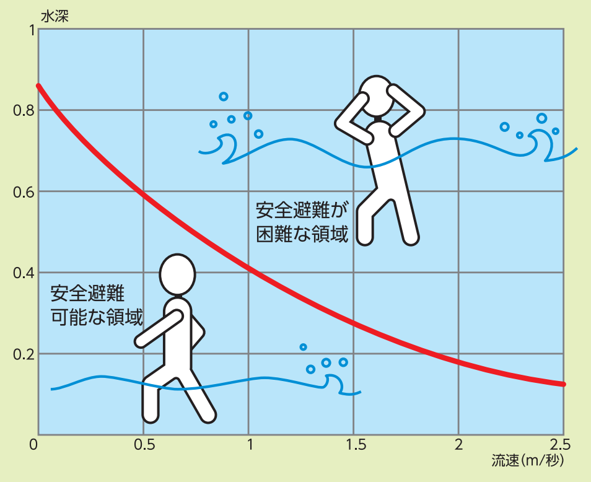
- 家族や近隣住民の方と一緒に避難しましょう。
- 安否確認や何か起きたときに誰かが知らせてくれます。

ひざまで水につかると歩きにくくなる

- 一般的に人が歩ける水の深さは50cmといわれています。
- 水がひざまである時は、無理な避難はせず近くの建物の高い場所に避難しましょう。

【実験データ】

浸水深が0.5m（大人の膝）程度でははん濫流速が0.7m/s程度でも避難は困難となる。



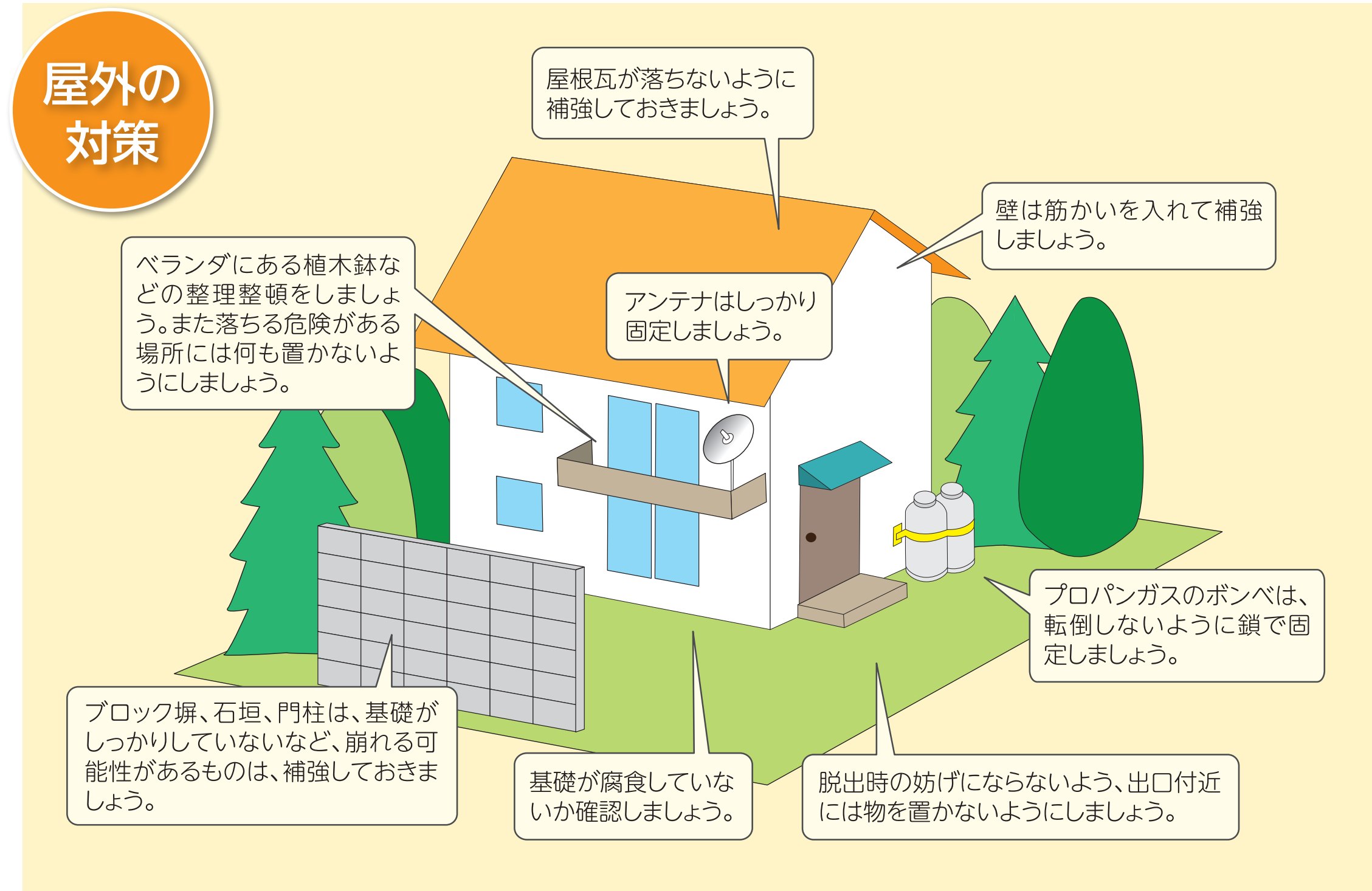
【洪水避難時に水中歩行できる領域】
実験水路とプールを使用した水中歩行
実験結果からとりまとめられたデータ

洪水ハザードマップ作成の手引き 平成25年3月 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室より

わが家の地震防災対策

私たちができるもっとも手軽で有効な地震対策は家具の転倒・落下を防ぐ対策と、家の周囲のブロック塀などの安全対策です。いまのうちに家の内外を点検して、以下のような対策を進めておきましょう。

屋外の対策



屋根瓦が落ちないように補強しておきましょう。

壁は筋かいを入れて補強しましょう。

ベランダにある植木鉢などの整理整頓をしましょう。また落ちる危険がある場所には何も置かないようにしましょう。

アンテナはしっかり固定しましょう。

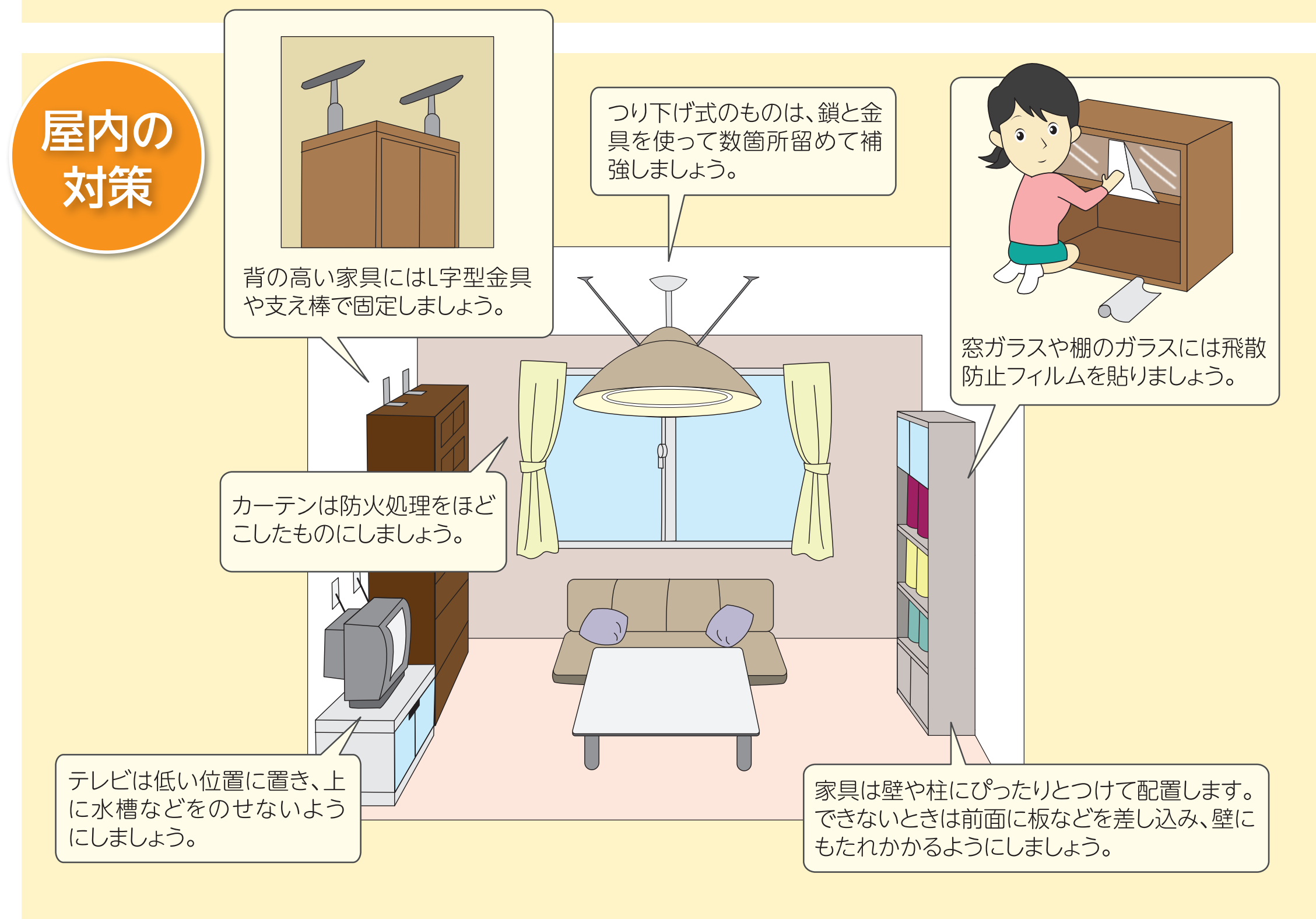
プロパンガスのボンベは、転倒しないように鎖で固定しましょう。

ブロック塀、石垣、門柱は、基礎がしっかりしていないなど、崩れる可能性があるものは、補強しておきましょう。

基礎が腐食していないか確認しましょう。

脱出時の妨げにならないよう、出口付近には物を置かないようにしましょう。

屋内の対策



背の高い家具にはL字型金具や支え棒で固定しましょう。

つり下げ式のものは、鎖と金具を使って数箇所留めて補強しましょう。

窓ガラスや棚のガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。

カーテンは防火処理をほどこしたものにしましょう。

テレビは低い位置に置き、上に水槽などをのせないようにしましょう。

家具は壁や柱にぴったりとつけて配置します。できないときは前面に板などを差し込み、壁にもたれかかるようにしましょう。

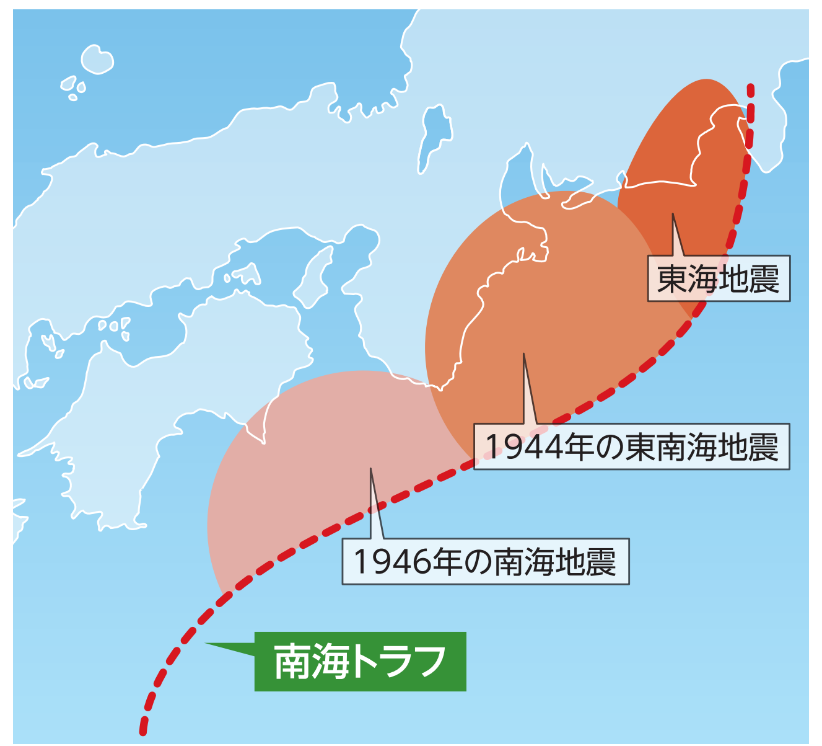
南海トラフを震源とした巨大地震

南海トラフの巨大地震

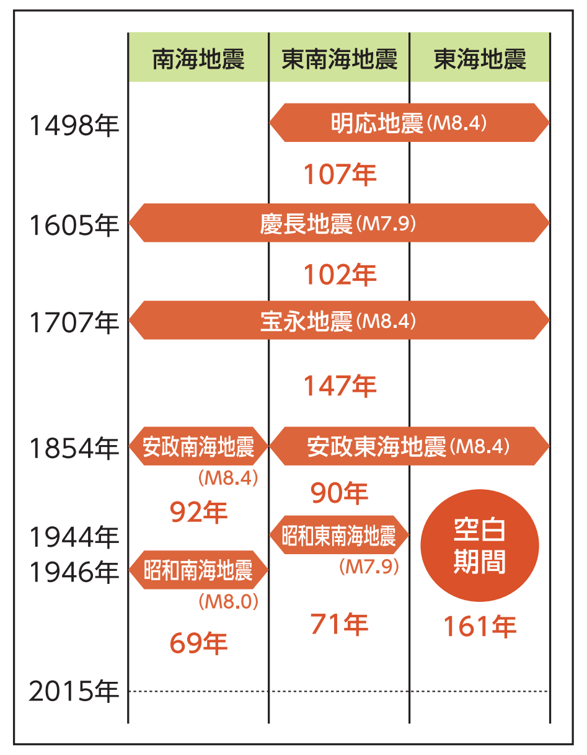
日本周辺の地震には、海溝型地震と活断層型地震の2種類があり、これらの地震は発生のメカニズムが異なります。朝日町に影響を及ぼす主な地震は、「南海トラフで発生する海溝型地震」と「養老-桑名-四日市断層帯による活断層型地震」があります。

南海トラフでは、過去1400年間を見ると、約100～200年の間隔で蓄積されたひずみを開放する大地震が発生しています。直近の昭和東南海地震および昭和南海地震が起きてから、すでに70年近くが経過しています。最近では、南海トラフをこれまでのような東海・東南海・南海領域という区分をせずに、南海トラフ全体を1つの領域として考えるようになってきています。

南海トラフと過去の巨大地震発生場所



過去に起きた年



津波警報・注意報の種類

警報・注意報	発表される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の発表	
大津波警報（特別警報）	10m超	巨大	河川を遡上する津波の速度は、陸上よりも速いので沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	5m～10m以下		
	3m～5m以下		
津波警報	1m～3m以下	高い	
津波注意報	20cm～1m以下	(表記しない)	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

出典:気象庁

朝日町では、JR関西本線の西側を目指して避難してください!

わが家の防災メモ

避難所	災害時避難場所	
	家族が離れ離れになった時の集合場所	

家族の連絡先	氏名	電話番号	住所

災害用伝言ダイヤル 171

家族間や知人間など、安否の確認連絡に活用できます。ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

伝言録音 1 7 1 → 1 → 被災地の方の市外局番からの電話番号
伝言再生 1 7 1 → 2 → 被災地の方の市外局番からの電話番号

171へ発信
音声ガイダンスに従って

伝言を録音する:1　　伝言を再生する:2

□□□-□□□-□□□□　被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。（通話料金が必要です）

伝言を入れる(30秒以内)　　伝言を聞く

※利用可能な端末はNTTの一般電話、公衆電話からご利用できます。携帯電話やPHSからのご利用については、お客様がご契約されている各通信事業者へご確認をお願いします。
※録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っているすべての人が聞くことができます。
※暗証番号（任意の数字4桁）により、他人に聞かれたくない伝言など特定の方々の間での伝言録音・再生もできます。

体験利用ができます

【体験利用日】
- 毎月1日、15日 0:00～24:00
- 正月三が日（1月1日0:00～1月3日24:00）
- 防災週間（8月30日9:00～9月5日17:00）
- 防災とボランティア週間（1月15日9:00～1月21日17:00）

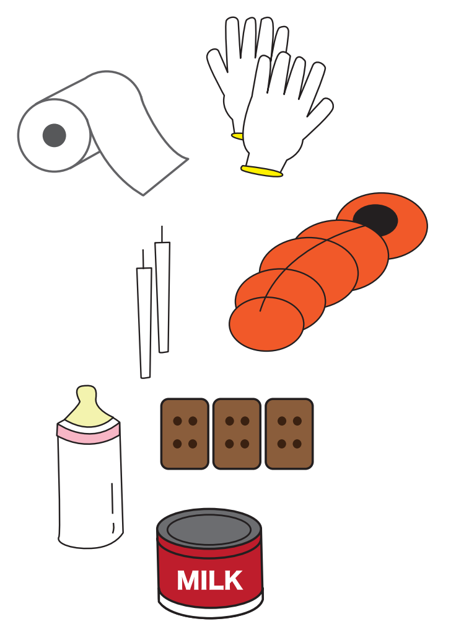
安否確認をしよう

- 災害時は、電話がかかりにくくなります。家族間の連絡は、電話ではなく別の手段を決めておきましょう。
- 災害時は、緊急でない電話はなるべく控えましょう。
- 公衆電話は、比較的つながりやすいので、近所の公衆電話の場所を確認しておきましょう。
- 被災地にかけるより、遠隔地にかけた方がつながりやすいため、遠隔地の知り合いに各自連絡を入れ、情報を集約してもらうことも有効です。

災害の備え

	生活用品	非常食関係	備品関係	貴重品	救急医療品
非常持ち出し品	□タオル	□飲料水（1日1人3リットル）	□ヘルメット・防災ずきん	□現金（10円玉も）※公衆電話を利用できるように	□傷薬・包帯・絆創膏
	□洗面用具	□かんぱん	□ホイッスル(笛)	□運転免許証	□常備薬・持病薬
	□衣類・下着類	□レトルト食品	□携帯ラジオ	□住民票の写し	□湿布
	□給水用ポリタンク	□インスタントラーメン	□懐中電灯	□印鑑・通帳	□マスク
	□はさみ	□粉ミルク	□使い捨てカイロ	□権利証書	□体温計
	□ビニール袋	□缶詰	□ライター・マッチ	□健康保険証	
	□ナイフ	□缶切り	□雨具	□母子手帳	
	□軍手	□紙皿などの食器類	□乾電池	□障害者手帳	
	□底の厚い靴		□包装用ラップ※食器を汚さず節水ができる		
	□生理用品				
	□おむつ				
	□哺乳びん				

	生活用品	非常食関係	備品関係
非常備蓄品	□水のいらないシャンプー	□飲料水（1日1人3リットル）	□携帯ラジオ
	□毛布・寝袋	□かんぱん	□懐中電灯
	□新聞紙	□レトルト食品	□使い捨てカイロ
	□ティッシュペーパー	□インスタントラーメン	□ライター・マッチ
	□トイレットペーパー	□粉ミルク	□雨具
	□卓上コンロ	□缶詰	□乾電池
	□ガスボンベ	□缶切り	□包装用ラップ※食器を汚さず節水ができる
	□ローソク	□紙皿などの食器類	
	□給水用ポリタンク		



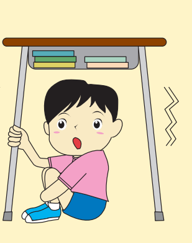
※非常時持ち出し品は、男性15kg、女性10kgが目安です。

地震が発生したら…

地震発生時

①まず身の安全を確保!

机の下に隠れるか、手近なクッションや座布団で頭を保護しましょう。机の下に隠れた場合は、机の脚をしっかりつかみましょう。



②すばやく火の始末を!

使用中のガス器具・ストーブなどの火を消しましょう。

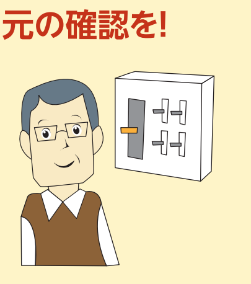
③出口の確保!

ドアが開かなくなることもあります。窓やドアを開け避難口を確保しましょう。

揺れがおさまったら

④火の元の確認を!

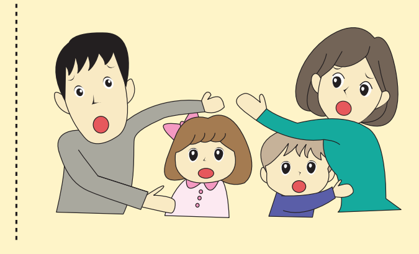
ガスの元栓をしめ、電気のブレーカーを落としましょう。



⑤火が出たらすぐ消火!

万が一出火したら、あわてず消火しましょう。天井に燃え移る前なら消火器で消火できます。

⑥家族の安全を確認!



避難の時は

⑦あわてて外に飛び出さない!

落下物の危険もあります。あわてずに避難しましょう。

⑧転倒物に注意!

ブロック塀や自動販売機が倒れる危険があります。

⑨徒歩で避難!

車での避難は危険な上、緊急車両の出動の妨げになります。歩いて避難しましょう。

避難後は

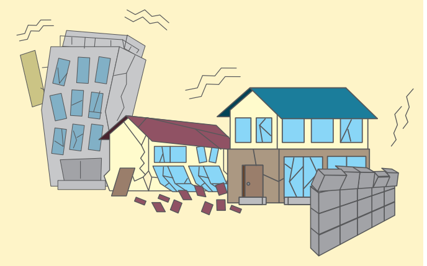
⑩協力し合って応急救護!

地域ぐるみで協力しあって、応急救護体制を取りましょう。

⑪正しい情報を聞く!

正しい情報はひとつです。間違った情報に惑わされず的確な行動をしましょう。

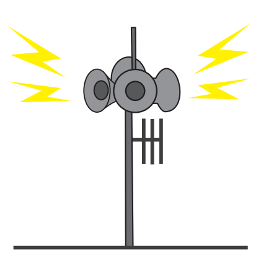
⑫余震に注意!



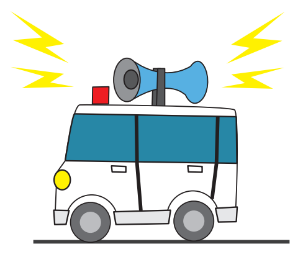
情報の伝達手法

避難情報は、次のような方法で発表されます。

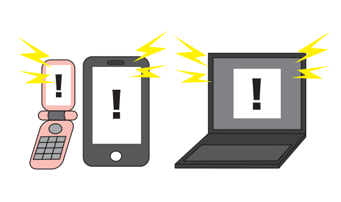
防災行政無線



広報車



災害時の緊急速報メール

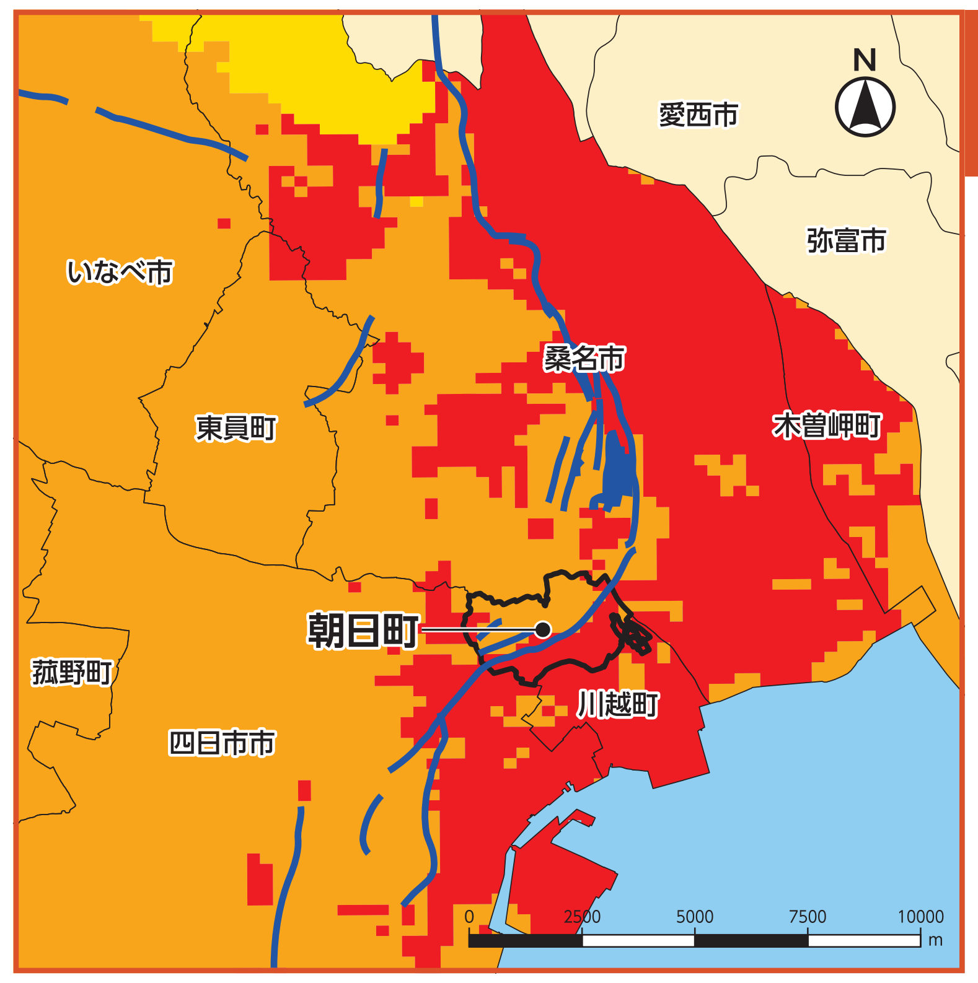


※災害時の緊急速報メールサービスを受けるには登録が必要です。

民間の放送

揺れやすさマップ

養老―桑名―四日市断層帯地震



「揺れやすさマップ」とは、三重県内の地盤の状況から地震が発生したときの揺れの大きさを250mメッシュ単位で示したものです。ここでは、「養老-桑名-四日市断層帯地震」を想定した場合のマップを掲載しています。なお、震源の位置や地震の規模が異なれば、地域の揺れはマップに示した地震よりも強くなったり弱くなったりします。

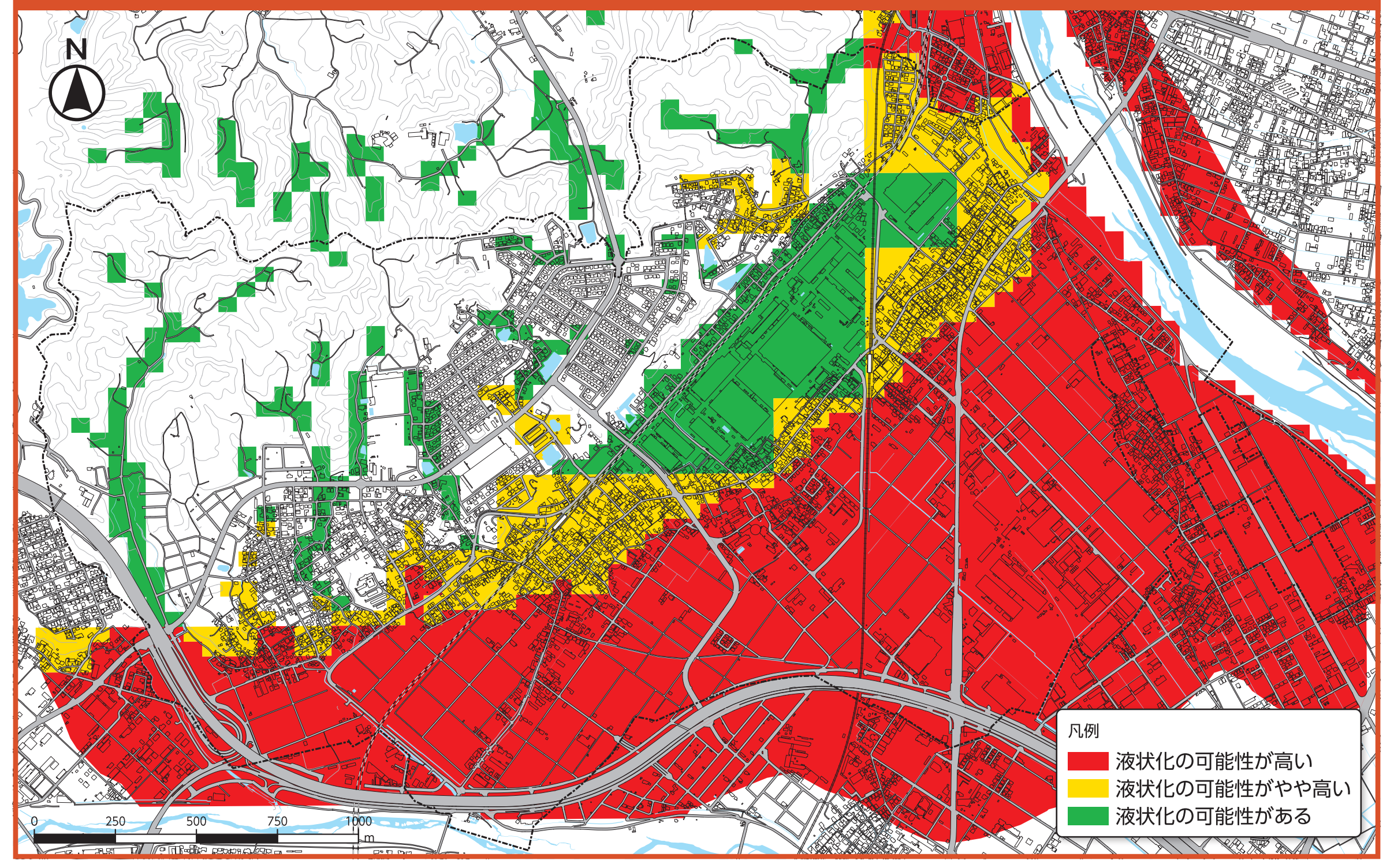
凡例
震度
🟨 震度6弱
🟧 震度6強
🟥 震度7
断層

※震度
養老―桑名―四日市断層帯地震を想定したシミュレーション結果を掲載しています。
※活断層
本図には、田中 高・今泉俊文 編、2002、『活断層詳細デジタルマップ』東京大学出版会の「活断層シェイプファイル」を使用した(製品シリアル番号:DAFM0540)

液状化マップ

養老―桑名―四日市断層帯地震

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2013三重県共有デジタル地図(数値地形図2500)」を使用し、調整したものである。(承認番号:三総合地第63号)本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とする。



凡例
🟥 液状化の可能性が高い
🟨 液状化の可能性がやや高い
🟩 液状化の可能性がある

※養老―桑名―四日市断層帯地震を想定したシミュレーション結果を掲載しています。

液状化マップは、液状化のしやすさを表す液状化指数（PL値）と地形分類の情報から液状化の危険性の程度を50mメッシュ単位で示したものです。